## 大きな災害が起こると、当たり前にできていた普段の生活ができなくなります。

大きな自然災害が起きたら、私たちの生命や生活はどうなってしまうのでしょうか。1995年に起きた阪神・淡路大震災では、6,400人以上の人がなくなりました。また、自宅がこわれてしまったために、避難所での生活を強いられたり、ガス・水道・電気などのライフラインがこわれて使えなくなったり、地震からしばらくの間、多くの人が不便で苦しい生活をしなければなりませんでした。

**ライフライン**
ガス・水道・電気や通信（電話・インターネット）など、人々が日常生活をおくる上で、なくてはならない必要な設備のことをいいます。

### ● 阪神・淡路大震災

1995年1月17日5時46分、兵庫県淡路島北部を震源とするマグニチュード7.2の地震が発生しました。大都市をおそった直下型の大地震により、市街地を中心にビルや家屋がこわれたり、複数同時に発生した火災で多くの家屋が焼失したりして、多数の死傷者が出ました。

地震で倒壊した中心

写真：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

火事で焼けてしまった町並み

写真：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

### 阪神・淡路大震災の被害状況

死者……6,434人
行方不明者……3人
負傷者……43,792人
住家被害……639,686戸（うち、全壊182,751戸）
火災被害……7,574戸（うち、全焼7,035戸）
避難者数（ピーク時）…316,678人

出典：阪神・淡路大震災の復旧・復興の状況について（兵庫県）

### ● 地震によるライフライン被害と地震後の生活

地震による大きなゆれによって、ガス、水を家庭まで届けるガス管や水道管や、電気を送る電線を支える電柱などが破損したりこわれたりしました。その結果、復旧するまでの期間、ライフラインの止まった生活を強いられました。

### 阪神・淡路大震災当時の様子

**ガスが使えなくなる**

地震[illegible]ガスも[illegible]作業[illegible]大阪ガス[illegible]員

写真：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

自衛隊の仮設風呂に多くの人たちが並んだ

**水道が使えなくなる**

写真：朝日新聞社

地震の[illegible]被害が[illegible]道路[illegible]

写真：朝日新聞社

給水車に行列を作って順番を待つ人たち

**電気が使えなくなる**

写真：阪神・淡路大震災記念人と防災未来センター

地震で電柱がたおれ、電気・通信ケーブルが断線

写真：朝日新聞社

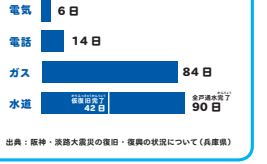
あかりや暖をとるため、避難所ではたき火が絶えなかった

### 阪神・淡路大震災のライフライン被害

電　気　約260万戸が停電
電　話　固定電話約30万回線が不通
ガ　ス　約86万戸が供給停止
水　道　約127万戸が断水

出典：経済産業省（電気）、総務省（電話）、日本ガス協会（ガス）、厚生労働省（水道）

### 阪神・淡路大震災のライフライン復旧までの日数




出典：阪神・淡路大震災の復旧・復興の状況について（兵庫県）

SAMPLE

## 知恵と工夫で、ライフラインの止まった生活を乗り切ろう！
## クイズ「自宅で避難生活～身の回り品できりぬけろ！～」

**大きな地震でライフラインが止まってしまうと、家ではどのような問題が起こるでしょうか？**
**げん太くん一家の地震後の暮らしをマンガでみてみましょう。地震が起こったあと、げん太くん一家にいろいろ困ったことが降りかかりますが、家にある身の回り品をうまく使ってトラブルを解決していきます。**

**▼マンガ（12 ～ 15 ページ）を読んだあと、16 ページでクイズを出題します。▼**
**マンガの中には、トラブルの解決方法が①～③の数字になっているところが 3 回出てきます。**
**それらの解決方法を、あとで考えてもらいます。**

SAMPLE

## ▶家庭学習編　地震のメカニズム

地球の表面は、プレートとよばれる岩盤がいくつも重なり合っています。プレートは、地下のマントルに動かされて少しずつ動いています。

日本列島のまわりには、陸と海の4つのプレートがパズルのようにひしめき合っています。

**海溝（トラフ）**
**（陸と海のプレートの境界）**

重い海のプレートが陸のプレートの下にもぐりこみながら、少しずつ移動しています。その動きが地震を引き起こす原因です。

重なりあったプレート　たり、はねあがったりし　きに　が起きます

### ●プレートがわれて起こる地

**内陸活断層型地震**

陸のプレートは、海のプレートに引きずりこまれ、一緒にしずみこんでいきます。

大陸プレートの中にもとからあった古い傷（活断層）がたえられなくなってひびわれ、地震がおきます。

日本には約 2,000 か所の活断層があるといわれています。

### ●プレートがはねあがって起こる地震

**プレート境界型地震**

陸のプレートは、海のプレートに引きずりこまれ、一緒にしずみこんでいきます。

陸のプレートがたえられなくなると海のプレートからはがれて、はねあがり、地震がおきます。

海底で起こるこのタイプの地震によって、津波が引き起こされます。



## 災害時の連絡方法を家族で確認しておこう。

災害はいつも家族一緒にいる時に起こるとはかぎりません。家族がバラバラの時間帯に災害が起きても大丈夫なように、集合場所や連絡方法を家族で確認しておくことが大切です。

### ●家族で決めておく連絡のルール

**場所・避**

場所で確
落ち合う
るかを決め

**伝言**

家族に
える
残す場所(玄
の裏側など)を

**連絡の中継点となる遠方の親戚・知人**

災害時に連絡の取り次ぎをしてくれる遠方の親戚・知人の家を決めておく。

**災害用伝言サービス**

災害用伝言ダイヤルや、携帯・ウェブなどの災害用伝言サービスの使い方を確認し、登録する番号を決めておく。

毎月 1 日と 15 日に体験利用ができます。

**災害用伝言ダイヤル（171）**

電話がつながりにくい時に自分の「無事」を録音して伝えたり、家族の「無事」を確かめたりできます。

メッセージをきく（再生）

をダイヤルする

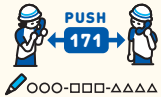
1 をおす　2 をおす

家の電話番号など、家族で決めた電話の番号をダイヤル(携帯電話も可)　□-□-□

1 メッセージを入れる(30 秒)　1 メッセージをきく

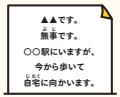
### ●緊急連絡カードの作成

緊急連絡カードを作成して家族や知人と交換し、普段から財布やカバンの中に入れて携帯しておくようにしましょう。




**災害用伝言サービスの登録先番号**

約束した災害用伝言サービスの登録先電話番号を書いておく。




**伝言メモの残し方**

登録する時にあわてないようあらかじめ原稿を用意しておく。

**家族・親戚・友人の連絡先**

携帯電話がなくても困らないよう家族や友人、連絡の取り次ぎをしてくれる人の連絡先を書いておく。

自分の「緊急連絡カード」をつくってみよう!→ 39ページ



SAMPLE